

開会御挨拶

舞立 昇治（農林水産大臣政務官）

本日は、令和6年度「野菜の日」Web シンポジウムに多数御参加いただきまして誠にありがとうございます。

さて、来たる8月31日は、「野菜の日」となっております。これは今から約40年前の1983年に、野菜などの青果物を取り扱う生産流通の9団体が、野菜の良さを知ってもらう目的で制定したものでございます。

皆様、御存知のとおり、野菜は豊富な栄養素が含まれ、ビタミン、ミネラル、食物繊維等の重要な供給源で、国民の健康の指針となる「健康日本21」では、20歳以上で1日当たり350g以上を食べることが推奨されております。

しかしながら、現状の平均摂取量は280g程度にとどまっており、より一層、消費者の皆様に手に取っていただけるような取組が必要と考えております。

また、今回のテーマでございます冷凍野菜を含む加工・業務用野菜の国産活用への切替えは喫緊の課題であり、食料安全保障の強化のために今後も皆様のご理解を得て進めていくことが必要です。

そこで本日は、野菜の日に向けまして、野菜の消費拡大の機運醸成等を図るため、近年、需要が増加しております冷凍野菜にスポットを当てて、最新の冷凍技術などについての基調講演を行うとともに、生産現場や冷凍食品業界の取組、日ごろの食生活での上手な活用方法等を、5名の専門家の皆様からお話しいたします。

本シンポジウムが、冷凍野菜の魅力を知るきっかけとなり、ひいては野菜摂取量の増加につながることを御期待申し上げますとともに、講演者の皆様、また、視聴いただいている皆様方にとって有意義な機会となりますことを祈念いたしまして、私からの御挨拶とさせていただきます。

令和6年8月21日

農林水産大臣政務官 舞立 昇治